



波津神社



創建、勧請は不明です。

晩稻は古くは賀露村の枝村でしたが、元禄 14 年（1702）に分村し、波津大明神を勧請したと伝わっています。

『因幡民談記』（1671）には、奥手村の氏神として、伯王大明神と記載されており、明和 6 年の『高草郡神社御改帳』には岩頭大明神とあります。

明治元年（1868）、境内末社稻荷神（保食神）を合祀し、波津神社と改称しました。

昭和 10 年、三嶋神社の日本殿を譲り受け、遷座祭を執り行うと共に、日本殿は若宮神社本殿としました。

平成 23 年には、幣拝殿を増築したほか、石灯籠・狛犬を新調しています。

江戸時代から「美保講」を結び、毎年三名宛くじ引きで代参を決めて参拝し、「糺」を拝受して稻苗とすることを今に伝承しています。

古くより、宇倍社の鍵を預かった村であるという伝承が伝わっています。

住 所 鳥取市晩稻 223

祭 神 猿田彦命 保食神（うけもちのかみ）

祭 祀 例祭 4月 20 日 秋祭 10月 1 日

正月の日待祭と春の例祭では、神前で神職が籤（くじ）を引き、獅子頭と御厨子（おたまやさん）を 1 年間預かる当番宿を決める。

旧社格 村社